

■リポジトリ版・追加参考文献

- 1) 伊藤計劃、山形浩生、藤井大洋、中原昌也、佐藤亜紀、多根清史ほか：蘇る伊藤計劃。宝島社，東京，2015.
- 2) 風野春樹：伊藤計劃の創作と病。伊藤計劃特集。S-F マガジン，56(6)；36-39，2015.
- 3) 風野春樹：からだでしかないじぶん：癌患者としての伊藤計劃と創造性。精神経誌 122；41-46，2020.
- 4) 小島秀夫、大森望、矢野健二、塩澤快浩：いかにして伊藤計劃は作家となったか。「伊藤計劃記録：第貳位相」刊行記念トークショー採録。特集・伊藤計劃以後。S-F マガジン，52(7)：4-19，2011.
- 5) 岡和田晃：「世界内線」とわずかな希望 ——伊藤計劃『虐殺器官』と向き合うために。S-F マガジン，51(5)：230-259，2010.
- 6) 大森望：“伊藤計劃以後”はいつ終わるか ——2020 年代 SF の始まりに向けて。伊藤計劃特集。S-F マガジン，56(6)；60-65，2015.

■追加注

伊藤計劃・個人ウェブサイト：スプークテール：インデックス

<https://web.archive.org/web/20061216165805/http://www33.ocn.ne.jp/~projectitoh/index2.html>

伊藤計劃・個人ブログ：第貳位相

<http://d.hatena.ne.jp/Projectitoh/>

本論文は、文献からの引用が多く、特に個人ブログ（伊藤計劃：第貳位相）を主な資料としている。以下、個人ウェブサイト内にある「著作権」「免責事項」「リンク」に関する伊藤計劃の記載。

「最近ではメタルギアでメジャーな小島秀夫監督作品、暴力金属自傷ポエムなナイン・インチ・ネイルズ、テクノロジーとポリティクスを描きつづけるブルース・スターリング、とまあ、そんなもんが好きです、あんたもひとつ、どうでっしゃろ、って主旨の文章が主です（だいたい）。

要するに他人様の創作物に負うところが大きいコンテンツなんです。であるからして、当然の事ながら恥ずかしくて著作権なんか主張できまへん。リンクは自由です。メールもいらんです。とはいっても、くれたらヨロコビます。私を幸せにしてくれる労力を惜しまない心の広いかたはお知らせくださいませ。リンクはトップ（スプラッシュ）ページに張れ、なんてケチ臭いことも商売ならともかく個人サイトでは恥ずかしくて言えません。ばかばかどこにでもやってくだせえ（中略）。一部には私自身の創作物もあったりなかったりするかもしれませんが、WEBにある限りはそれも同様。

出典と URI を明記すれば引用も自由です（そんな物好きいないと思うけど）。掲載画像のほうも、著作権を主張しなければどんどんコピってかまいません。変えたところを本人様の責任において変えたとわかるようにすれば書き（描き）換えてもかまいません。

このサイトに書いてあることはすべて管理人個人の主観にもとづく情報であり、その信頼性を保証するものではありません。間違っている責任はもてません。友達に話して恥をかいたりテストで使って間違ったりしてもしりません。たりめーだけど。

リンクバナーについては、以下の画像を使っただけだとありがたいです。」

